

2017年度 年主題〈愛されて育つ〉

1・2歳児 4月主題 「であう」

月のねがい

- ◎保育者の祈りを通して神さまと出会う
- ◎新しい環境や保育者に親しみを感じる
- ◎保育者に守られて安心して過ごす

3・4・5歳児 4月主題 「出会う」

月のねがい

- ◎祈りを通して神さまと出会う
- ◎保育者にあたたかく受け入れられ、安心して過ごす
- ◎保育者と保護者が信頼関係を築く



希望と不安の新しい春

「先生、見て見て、ぼく青いネームをもらったよ！」
4月、あい組からのぞみ組に進級した子が、私の所に飛び込んできました。
「クライミングもできるかも！だって、もうのぞみ組だもん！」。そう言うと、クライミングにへばりつき、右の手を伸ばし、左の手を替え、右足、左足…と順番に、そして慎重に挑戦していきました。見ているこちらにも力が入ります。クライミングの頂点には”100点”の印がついています。子どもたちはその印をめがけて懸命に登ります。その子が時間を掛けて手を伸ばし、ようやくその印に手が届いたときの喜びといたらそれはすごいものでした。「ヤッター!!」先生とハイタッチをし、お友だちと喜び合い、意気揚々となりました。
喜んだのもつかの間、始まりの時間になると、少し重い表情で座っていました。保育室が変わり、周りの友だちの数もかなり増え、かばんを片付けるロッカーも変わっています。環境の変化にいくらか不安もあるのかと察するところでした。
さあ、始園式です。進級した子どもたち一人一人に進級合格証を作成しました。(小さいですが、お帳面にはさんで持ち帰ります)共に進級できたことをみんなで喜び、今年度一年が子どもたちにとって健やかな成長の時となりますよう、祈りつつ応援していきたいものです。保護者の皆様も一緒に、子どもたちの成長を喜び、楽しんでまいりましょう。本年度も宜しくお願い致します。 園長

4月の行事予定

7日(金)	始園式(1号午前保育)
10日(月)~	1号新入園児慣らし保育
15日(土)	入園式・新年度クラス会
17日(月)	一日保育開始(1号新入園児)
26日(水)	交通安全教室
27日(木)	弁当日 田植え

5月の行事予定

8日~12日	家庭訪問(3才以上)
10日(水)	誕生会(4・5月生れ)
11日(木)	弁当日
21日(土)	親子遠足・父母会総会



キリスト教保育とは

乳幼児期は人間の生涯の基礎が形成される時期で、この時に培われたものが生涯の生き方の基盤となると言われています。この大切な時期の子どもたちの成長に関わりを持つ保育者として、使命の重さを思わずに入られません。
キリスト教保育では、子どもも大人も神によって創造され生命を与えられた、一人ひとりがかけがえのない存在であり神の恵みの中に生かされていると考えられています。
目に見えない神の愛を子どもたちに知らせるのは大変難しいことですが、キリスト教保育を通して、見えない神の恵みを感じ、神の導きに信頼して幼児なりの思いを持つことができるようになります。
乳幼児期は親や保育者のあたたかな愛ある養護を受けることによって、信頼感が芽生え安定します。このような安定感は集団生活での友だちや周囲の大人たちとの人間関係にも影響し人に愛され受け入れられていることによって、互いに愛し合うわりの世界を経験し、神の愛を知る素地が養われていきます。
キリスト教保育の目的は、神に愛されている自分を知り、の愛に応答して生きるものとなると共に、他者もまた神の愛れる存在であることに気づき、よき隣人として生活できるようになることであり、「生活のすべてを通して伝えられていく」ということができます。

抜粋 『新・キリスト教保育者必携』より



新制度における注意点

- 1号認定こども：3歳以上の教育標準時間利用のこども
- 2号認定こども：3歳以上の保育標準時間利用及び保育短時間利用のこども
- 3号認定こども：3歳未満の保育標準時間利用及び保育短時間利用のこども
- 保育料・・・各家庭の市民税所得割額に対応した利用料となります。1号認定では小学校3年までの兄弟がいる場合は、在園長子は半額、在園次子は無料となります。2号・3号認定では、在園児のみの次子から半額、無料となります。なお、すべての認定で、本年度から年収360万円未満の世帯は、兄弟の年齢制限が撤廃され、その中の1人親世帯は在園長子は半額、在園次子は無料となるなど拡充されました。
- 給食費
1号認定は給食実費全額、2号認定は主食分の実費が必要となります。
- 一時預かり(幼稚園型)
市の「地域子ども・子育て支援事業」としての従来幼稚園で実施していた在園児の預かり保育です。
- 満3歳児の扱い
満3歳到達前に1号もしくは2号の選択確認手続きをしていただきます。
- ふれあいあそび
未就園児の親子登園で、保育やあそびを体験できるプログラム。

今月の聖句

「わたしは、よみがえりです。いのちです。」

ヨハネ 11:5

今月のテーマは「いのち」です。フィジカルないのちには限界がありますが、霊のいのちは永遠です。人はだれもいつかは肉体の生活が終り、霊的な世界に移されます。しかし、その個人個人の霊魂は永遠に存在します。創造主である神とともに過ごします。「ひと神の民となり、神ひとともにいます」(黙示録21章)と約束されています。また、霊の世界は飲食ではなく、喜びと感謝の世界、病や苦しみもなく、神を讃め称えつつ過す世界です(ローマ人への手紙14章)。その保証として、キリストさまは十字架に懸かり、石の墓に葬られ、三日目に復活してくださいました(復活祭をイースターとも言います)。

4月は新入学 新入社の季節。また、復活祭を祝う季節でもあります。卒園された皆さんは1年生となってそれぞれの学校へ入学し、新しい友だち、新しい先生と出会います。社会人となって新しい職場に入る人もいます。新しい家庭を築く人もいます。人それぞれの生業が神様に祝福され、守られますようにお祈りします。そして、永遠の命を信じ、人生の完成に至らせて下さる神のご計画を信じて歩みましょう。長い眠りから覚め、桜や百合の花は私たちに命の永遠性を教えてくれるようです。

前理事長 池田公榮



時折肌寒さを感じながらも、春の爽やかな風が心地よく頬を撫でていきます。いよいよ四月を迎え、また新しい一年の歩みが始まります。ご入園・ご進級おめでとうございます。卒園生を送り出し、暫く寂しい思いをしておりましたが、今年も愛らしい子どもたちとの出会いを与えられ、心から感謝しております。
本年度の年主題は「愛されて育つ」です。乳幼児期は、人格や情緒の安定といった目に見えない内面の育ちが大切だと思います。ありのままの自分を見えない内面の育ちが大切だと人が側にいること。あそびや活動を通して信頼できる友だちや保育者と出会うこと。「それいいね!」と穏やかな眼差しで、支えられ励まされること。ひとり一人は違ってもいいんだということを知ること。…「愛されて育つ」ことは、これらを通して、「自分は愛されるために生まれてきたんだ!」と実感できることだと信じます。喜びや希望が培われる過程に目を注ぎ、内側に育まれる宝物を皆さんと分かち合いたいと願っております。
集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、こども園は期待と不安の混じったものでしょう。そのような中で、あるがままの自分が受け入れられ、大切にされていると感じる時、子どもたちの心は安定し、喜びと希望のうちに「生きる力」を發揮できると考えています。幼児期にこそ経験しなければならぬこと、たくさんのおそび、自然の不思議さ、他者との相違や葛藤、そして大切なものは目に見えないということ。神さまに生かされて、「自分」をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と共に子どもたちに寄り添って歩んでいきたいと考えております。不思議だなと感じること。明日もまたやりたいという意欲や探究心を大切にしていきたいと思えます。今年もキャッチフレーズは、「タイケン・タンケン・タイケン」です。家庭では味わうことが少ないダイナミックな体験。未知の世界へ興味・関心を寄せる探検。そして、人としての成長に欠かせない困難や挫折を伴う少しだけ大変な経験なのです。
四月は出会いの月。人は、どのような場所、どのような人と出会い、どのような決断をしていくかで、その後の道程が決まるのかもしれない。集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。いつも神さまに愛され、生かされている「自分」をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と共に心を込めて寄り添っていきたく考えております。創立六十周年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参りますので、ご支援の程を宜しくお願いいたします。

学園長

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん **4月園だより** きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん